※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | T0315 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | （通）世界史探究 | 単位数 | ４単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高等学校　世界史探究」（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | パワーポイントによる資料提示 | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

## 2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。 |

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 古代文明の歴史的特質 | 第１節　西アジア文明<br>第２節　インダス文明<br>第３節　中華文明 | a 西アジア文明，インダス文明，中華文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解する<br>b:古代文明に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，自然環境と生活や文化との関連性，農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し，表現する。<br>c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>授業態度 |
| | 諸地域の歴史的特質 | 第１節　西アジアと地中海周辺の諸国家<br>第２節　仏教の成立とヒンドゥー教<br>第３節　南アジアと東南アジアの諸国家<br>第４節　秦・漢と遊牧国家<br>第５節　唐と近隣諸国の動向<br>第６節　キリスト教とイスラームを基盤とした国家の形成 | a:それぞれの地域の諸国家の歴史的特質を理解する。<br>b:それぞれの地域の歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，諸国家の社会や文化の特色を多面的・多角的に考察し，表現する。<br>c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 結びつくユーラシアと諸地域 | 第１節　西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播<br>第２節　ヨーロッパ封建社会とその展開<br>第３節　宋の社会とモンゴル帝国の拡大<br>第４節　15～16世紀のアジア海域での交易の興隆<br>第５節　明と東アジアの動向<br>第６節　スペインとポルトガルの活動 | a:西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開，宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。<br>・アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の発展とヨーロッパの進出を構造的に理解する。<br>b:諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，諸地域へのイスラームの拡大の要因，ヨーロッパの社会や文化の特色，中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し，表現する。<br>c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>授業態度 |
| | アジア諸地域とヨーロッパの再編 | 第１節　西アジアや南アジアの諸帝国<br>第２節　清と東アジアの動向<br>第３節　宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争<br>第４節　大西洋三角貿易の展開<br>第５節　科学革命と啓蒙思想 | a:西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮などの動向を基に，アジア諸地域の特質を構造的に理解する。<br>宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。<br>b:アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，諸帝国の統治の特徴，アジア諸地域の経済と社会や文化の特色，日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現する。<br>c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 世界市場の形成と諸地域の結合 | 第１節　産業革命と環大西洋革命<br>第２節　自由主義とナショナリズム<br>第３節　南北戦争の展開<br>第４節　イギリスを中心とした自由貿易体制<br>第５節　国際的な分業体制と労働力の移動<br>第６節　アジア諸国の植民地化と諸改革 | a:産業革命と環大西洋革命，自由主義とナショナリズム，南北戦争の展開などを基に，国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解する。<br>b:大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，産業革命や環大西洋革命の意味や意義，自由主義とナショナリズムの特徴，南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。<br>c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>授業態度 |
| | 帝国主義とナショナリズムの高揚 | 第１節　第２次産業革命と帝国主義諸国の抗争<br>第２節　アジア諸国の変革<br>第３節　第一次世界大戦とロシア革命<br>第４節　ヴェルサイユ=ワシントン体制の成立<br>第５節　アメリカ合衆国の台頭<br>第６節　アジア・アフリカの動向とナショナリズム | a:第２次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の変革などを基に，世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解する。<br>b:列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，世界経済の構造的な変化，列強の帝国主義政策の共通点と相違点，アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し，表現する。<br>c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 第二次世界大戦と諸地域の変容 | 第１節　世界恐慌と国際経済体制の変容<br>第２節　ヴェルサイユ=ワシントン体制の動揺<br>第３節　第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序<br>第４節　冷戦とアジア諸国の独立のはじまり | a:世界恐慌とファシズムの動向，ヴェルサイユ=ワシントン体制の動揺などを基に，国際関係の緊張と対立を構造的に理解する。<br>第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。<br>b:世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点，ファシズムの特徴，第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。<br>第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連，アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し，表現する。<br>c:諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | <br>ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>授業態度 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度